

## 平成 30 度 第 1 回オープンキャンパス開催報告

日時：平成 30 年 6 月 9 日（土）10:10～11:30 午前の部、13:30～14:50 午後の部

参加者：1 回目（午前の部）16 名、2 回目（午後の部）：7 名

模擬講義 「都市を守る 橋のふしぎとテクノロジー」

講師：永田和寿准教授（専門分野：構造工学・耐震工学）

模擬講義では、永田和寿准教授により、本学科環境都市分野で学ぶ土木工学が、参加者にとって身近である一方、実は地図に残るスケールで社会をデザインする社会基盤を築く学問分野であることが説明されました。



模擬講義の様子

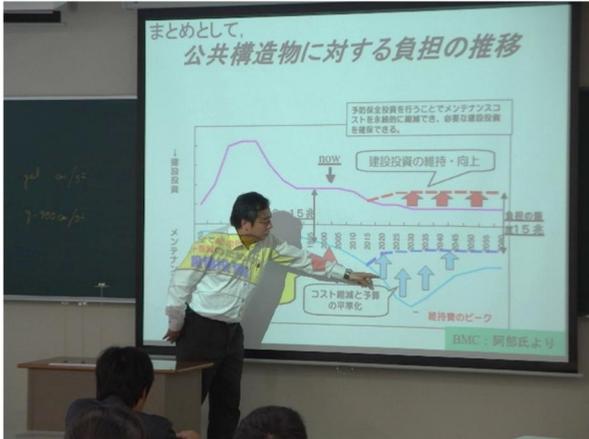


愛知県からの参加者が多いようです

さらに、先生のご専門である構造工学について紹介され、「造る」技術から、地震や老朽化から「守る」技術の重要性が高まっていることが話されました。最後には、環境都市分野で習得した学問や資格を活かし、卒業後にどのような進路や活躍の場があるのか説明されました。



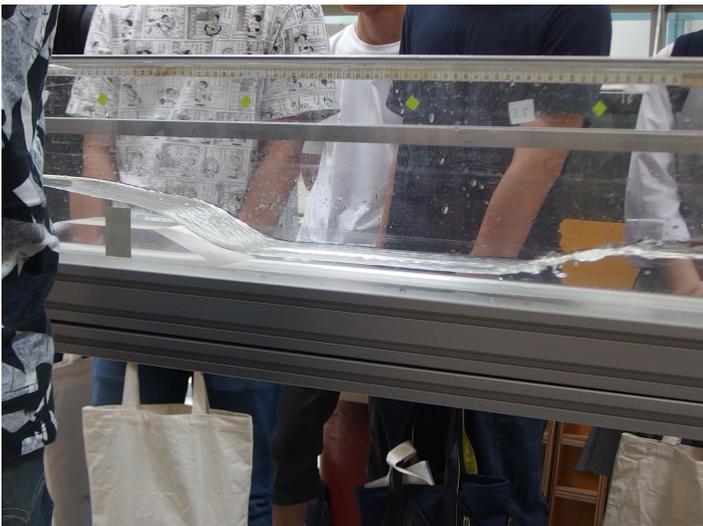
地震時に建物にかかる横揺れの大きさを解説



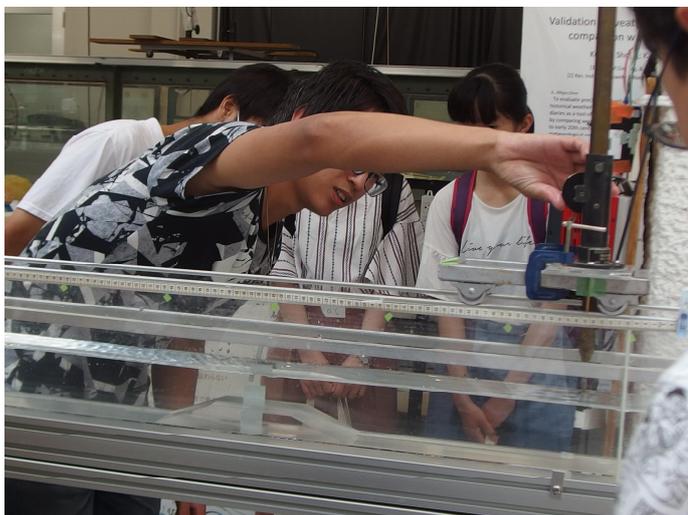
「造る」から「守る」へ

## 2. ラボツアー① 水工分野紹介-川の流れと「水」の科学-

庄建治朗准教授が、名工大における水分野全体について紹介された後、研究室の修士の先輩が水理模型装置を用いて河川構造物が水の流れにどう影響するかを実演されました。



断面がみられるので、水制による水の流れの変化がよくわかりますね



河川構造物によって水位がどう変わるか見ています



参加者も興味津々です

### 3. ラボツアー② 地盤工学研究室紹介

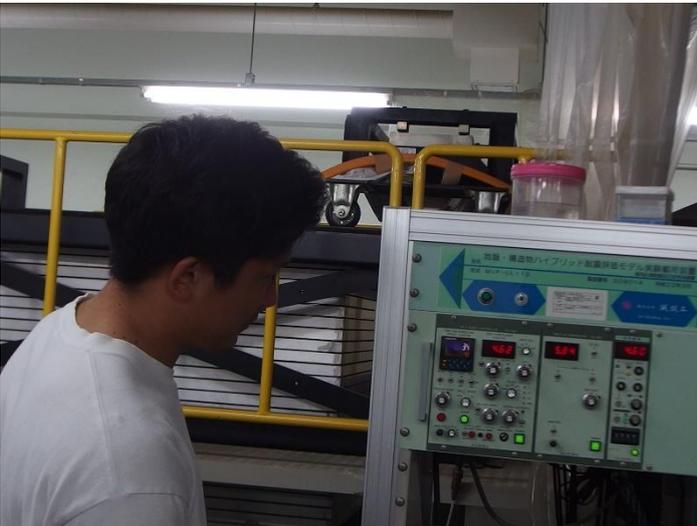
張鋒教授が、地盤液状化とその対策について解説されました。大型振動台の実演もを見せていただきました。また、紀伊沖海底に横たわる巨大水平断層についても、解説頂きました。



## 地盤液状化について解説する張教授



地盤に圧力をかける実験装置  
油圧で圧力をかけるそうです



大型振動台を動かしています  
500 キロの土壌をいれて実験することもあるそうです

午前の部は 16 名、午後の部は 7 名の参加があり、高校生、保護者の方も環境都市分野の魅力を十分に感じて頂けました。